

## 取組方向ごとの目標項目及び目標値

取組方向	目標項目	27年度	31年度	設定理由
	目標項目の説明	現状値	目標値	
1 新エネルギーの導入促進	新エネルギーの導入量 (累計)	40.2 原油換算 (万kl)	65.3 原油換算 (万kl)	新エネルギー6種類と革新的なエネルギー高度利用技術の4種類を合わせた「新エネルギー」のうち、新エネルギー6種類の平成42年度目標達成に向けた平成31年度の目標値を設定しました。
	太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス発電、バイオマス熱利用、中小水力の新エネルギー県内導入量	21.8 世帯換算 (万世帯) (26年度)	35.4 世帯換算 (万世帯) (30年度)	
2 家庭・事業所における省エネ・革新的な高度利用技術の推進	事業者等による新エネルギーの普及啓発の取組数(累計)	—	40回	県内の新エネルギー施設において、見学会や勉強会を年6回開催しており、今後、リーディング産業展や各種イベント等を通じて事業者等と連携した新エネルギーの普及啓発を4回程度行い、年平均10回程度の取組を進め、平成31年度に累計で40回をめざします。
	事業者等による、太陽光・風力・バイオマスなどの新エネルギーの普及啓発を目的とする取組数			
3 創エネ・蓄エネ・省エネ技術を活用したまちづくりの推進	創エネ・蓄エネ・省エネ技術を活用したまちづくりへの支援件数(累計)	8件 (26年度)	32件	平成26年度末までのまちづくりに向けた計画策定やモデル事業の実績見込みは年平均2.7件でした。今後、まちづくりに向けた具体的な調査研究や啓発事業への支援にも取り組み、これまでの倍の年5件を目標値として設定しました。
	県が支援した創エネ・蓄エネ・省エネ技術を活用したまちづくりに向けた計画策定やモデル事業の件数			
4 環境・エネルギー関連産業の育成と集積	エネルギー関連技術に関する企業との共同研究の件数(累計)	10件 (26年度)	34件	平成26年度末までの実績見込みが10件で、今後は、工業研究所から企業へ技術開発提案を積極的に行うことにより共同研究をこれまでの実績(年平均3~4件)を上回ることをめざして、これまでの実績の上回る平均5件/年の取組を進めるよう設定しました。
	工業研究所を中心に、創エネ技術・蓄エネ技術・省エネ技術に関する製品開発をめざして、企業と共同して研究に取り組む件数			
5 次世代の地域エネルギー等の活用推進	次世代の地域エネルギー等の利活用に向けた研究テーマ数(累計)	11テーマ (26年度)	44テーマ	これまで年度平均で5つのテーマを検討してきましたが、今後は、次世代の地域エネルギー等の利活用を産業振興やまちづくりにつなげるため、企業や地域の取組状況に沿った具体的なテーマを議論することとして設定しました。
	みえ水素エネルギー研究会、みえバイオリファイナリー研究会、メタンハイドレート地域活性化研究会で検討するテーマ数			